

Love mutagens.

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



好きだ…



うわぁ

あっ
あの…?



百合子…

ドキ!
えっ…



—あわだんこむたかす♡

アッ

フウ……

どうしてライブ後って
もうそっ
執筆が止まらないんだろうっ……♡

ふふっ
ふふっ
ふふっ……

お疲れさま、って
百合子まだ着替えて
なかったのか

なにか
あったのか？

い、いえ
なんでも……

ん？数学のノート……
もしかして勉強してたのか？

数学

Y. Nanao

え!?……あ、はい!
明日の授業で小テストが
あるから復習してたんですっ

そっそめで
着替えるのわ
おせん……



衣装のままだと寒いだろ？俺もファンも百合子に風邪を引いてほしくないからな

百合子は本当に偉いなでも：ちよつとだけ注意だ

はいっ



……ってわけでノートはいったん没収な

「ーやさしくしてください」
「そう言ったはずなのに…本能」
「きゅっ」
スカートの下から荒々しく手を
「ははっ。すっかり火照ってるじ」
「こ、これは」



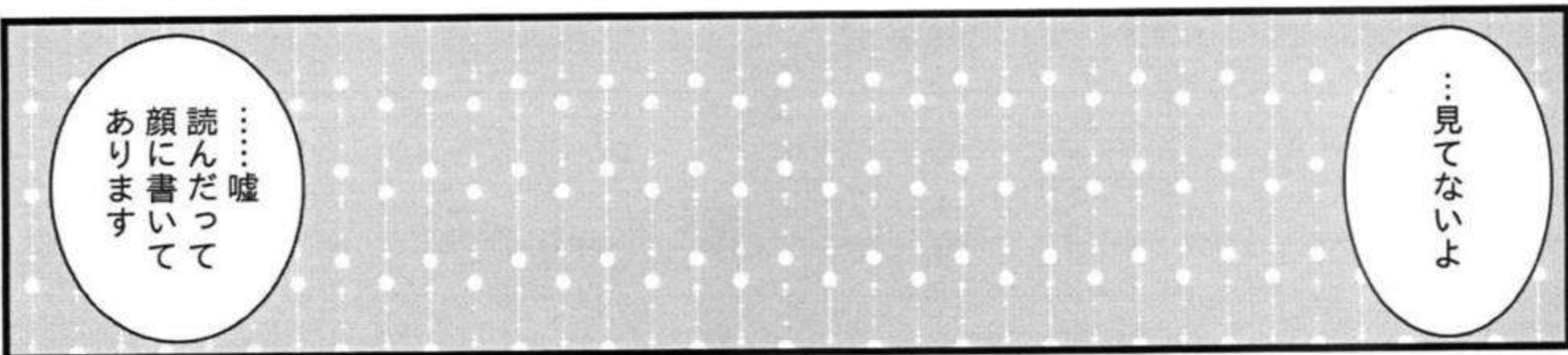


国語の
ノート……じゃ
ないよな？

プツ
プツ
プロデューヒャー
しゃん……

これは……

私の小さな嘘。
ハートマークのついたベツ
どんなライブよりも興奮し
「そっか。じゃあ今から、
え！？もしかして、私の
どうしよう。胸のドキドキ
このままじゃ、張り裂け
「あんっ」
撫でた。プロデューサーさ
「待ってください、まだ心
男の人の太い指が、どんど
「……濡れてるし、準備は
プロデューサーさんの意地
なんて、そんな質問の仕方
私……い、そっぽを向
俺を見ろ」
顔をもちたれ
と違うことが
今にも唇が触れそうなくら



……すまなかつた
事故とはいえ、百合子の
す、数学ノート……勝手に
読んでしまつて

数学って……
もう遅いです

……あのっ
そこに書いてあつた
わたしの気持ち……！

中身のこともさー！
見たことは全部忘れるから！

……ッ！

……もうっ
プロデューサーさんは
やっぱり酷いです

ノートを見た
ことよりも

する、…

私の気持ちになかった
ことにしちゃうことの
ほうが酷いです…!!

いくらニブチンな
プロデューサーさんでも
これで女の子の気持ち
わかりますよね？

ゆっ
百合子の…!!

こっちを見て

私に恋…しませんか？♡

する!!

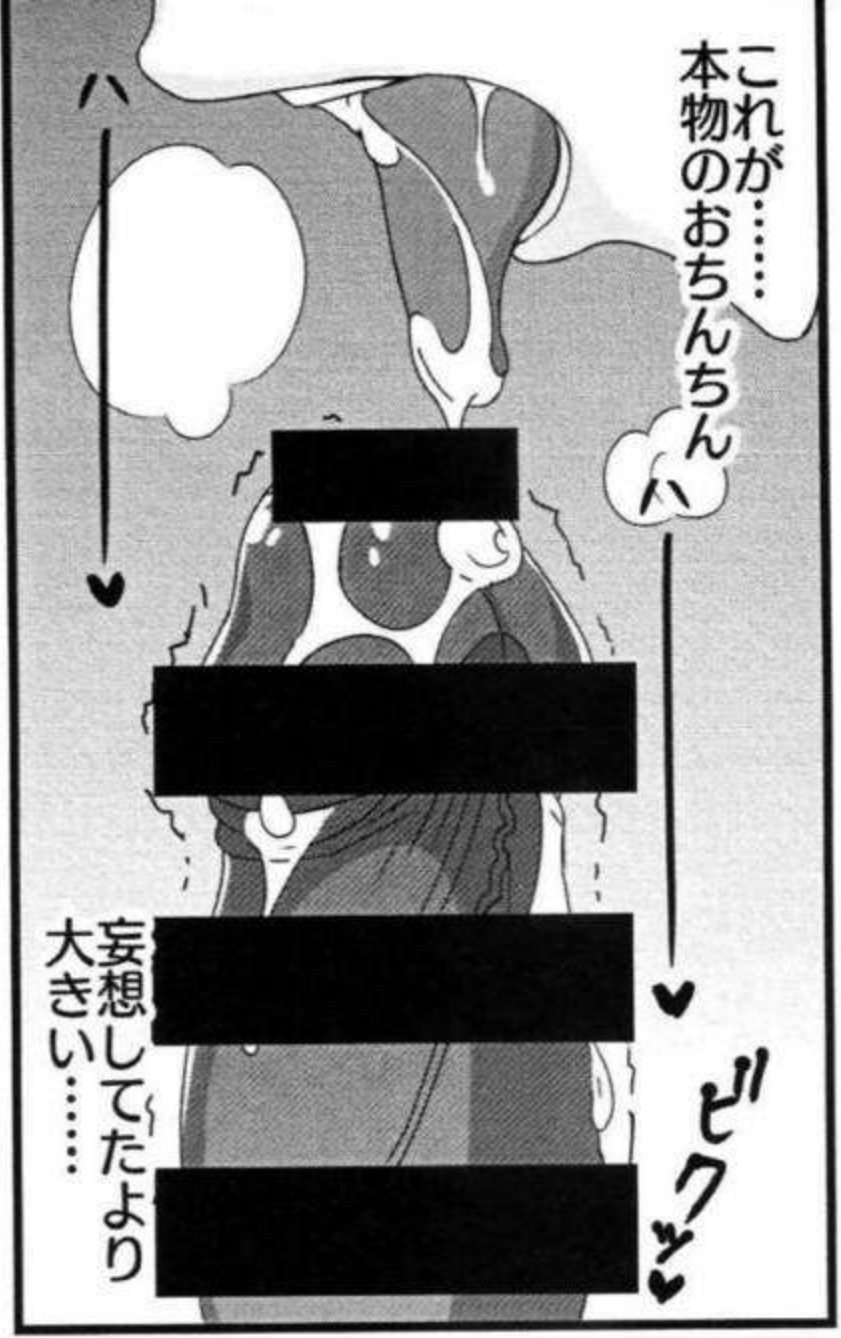
する、…



…うまくしゃべれるかな？



…大丈夫
知識だけはある…から



これが…
本物のおちんちん

妄想してたより
大きい…



たしか、こっちは前後に…

さっきまでこの口で
ライブしてたかと思うと
余計にたまらないな…

んおっ
ピストンすごっ

よかった
プロデューサーさん
気持ちよさそう…

…
気持ちいいってこと…
だったら、嬉しい…



ンンッ！
出そう出そうッ！



ぐっ…
先っぽは
ヤバい

ふふっこころが
弱いんですね

大好きな
プロデューサーさんだから…
私の回で
イってほしい…



やべえ
射精とまんねえ…

精液いっぱい
ありがとうございます…っ♡

はあ

ふーっ

やった！！
お回でちゃんとおちんちん
気持ち良くしてあげられた♡

ふーっ



今度は百合子を
気持ちよくさせてくれ

ふっ

あんっ

自分で触ると
全然ちがう……

ふっ

乳首って
こんなに気持ちいい——



あああっんツ♡

はは
乳首でここまで
感じるなんて…
準備もよさそうだな

ほんとに
初めてなのか…?

あっ

はは

はは

はは

—まあ
初めてかは今から
わかるんだけどな

ドキッ

ドキッ

ドキッ

百合子……!!
大丈夫か?

……やっと
ひとつに
なれました♡

……っ
心の準備なんて
一生できないです

ぬち

当たってる……
プロデューサーさんの
おちんちんが私の
処女膜に……

もうっ
ここまで
挿入ちゃったのに

……夢じゃ、
ないですよね♡?





求められるのも
嬉しいです…っ♡

急にッ
はげし♡



余裕そうだな…
んじゃ
もっと味わわせてくれ

えっ!?



百合子…
かわいい!



あくやっぱ
後ろからも気持ちいい

初めてなのに
身体がもっともっ
って言ってますッ

…んんあ♡
私も…です

あんツ

んん♡

あっ♡
イイ…♡

はっ♡

あっ♡

あっ♡

プロデューサーさんの
舌おいしい……

あっ♡
…あっ♡

奥まで
きてるう…

あっ♡

奥グリグリ
きもち…っ

ひゃうっ

あっ♡



あー♡

百合子ッ

あー♡

百合子ッ

私の身体……
プロデューサーさんと
Hなことするために
あったみたいです

好き！
プロデューサーさんの
おちんちんも顔も言葉も
全部大好き…ッ！

好き♡

好き♡



ダメ
抜いちやダメー



んああんっ
きちやいます

大きいのが
きちやいます

やばっ
俺もイキそ
抜かないと
マズい……

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ほんとに
でる……っ

ふふっ
知りませんでした
膣出しされるのって……
こんなに幸せなんですわね

んあっ♡

とろあ……

最後いっぱい
私の名前を呼んで
くれたとき……

プロデューサーさん
なんだかとても
可愛かったですっ♡

プロデューサーさんの
精液がこんなに……

キュン……

かわいいは
ないだろ……

え!?
かわいいは
ダメでしたか!?

よ……

よ……

……

……可愛いのは
百合子のほうだよ

誰よりも可愛い
ヒロインのために
俺は誰よりも格好いい
ヒーローにならないとな

とま



……
なんだ
その目は

今のセリフ！
とくくっても
素敵でした！

エッ
やめて！
恥ずかしい！

思わずキュンときちやって……

プロデューサーさん
今からもう1回恋……しませんか？

恋って……
1回でいいの？

百回でも千回でも
私にずっとずっと
恋してください！

こんにちは。羽純やえです。

この度は「Lovemutagens.」をお読みくださってありがとうございます。

あとがきにかえて百合子のノートに綴られた文章の全編を載せます。

笑っていただけたらいいなあと思って少々オーバーに書いていただいたのですが、

実際百合子の描く文章ってどうなんでしょう。気になるこの頃です。

「— やさしくしてください」

私はそう言ったはずなのに……本能を剥き出しにしたプロデューサーさんに届いていなかった。

「きゃっ」

スカートの下から荒々しく手を突っ込まれ、思いっきり太ももの内側を触られる。

「はは。すっかり火照ってるじゃないか」

「こ、これはライブ後だから……」

私の小さな嘘。ハートマークのついたベッドに押したときから、どんなライブよりも興奮してる。

「そっか。じゃあ今から、ライブより興奮させてやるよ」

え！？ もしかして、私の心読まれちゃった……？

どうしよう。胸のドキドキが、ドキドキドキになっちゃった。

このままじゃ、張り裂け—

「あんっ」

撫でた。プロデューサーさんの手が、私のパンツをゆっくり撫でた。

「待ってください、まだ心の準備が……」

男の人の太い指が、どんどん私の秘密の領域に入ってくる。

「……濡れてるし、準備は万端みたいだが？ それとも、汗か？」

プロデューサーさんの意地悪。なんで、そんな質問の仕方するんだろう。

「……知りません」

私はそう言い、そっぽを向こうとしたけれど、

「— コラ、俺を見ろ」

さっきみたいに顎をもたれて、顔の向きをかえられる。

でも、さっきと違うことがある。今にも唇が触れそうなくらい、プロデューサーさんの顔が近い。

← あれ？)

待って待って、どんどん顔が近づいてきてる。

これって、もしかして—

1st Kiss?

Lovemutagens.

2018年12月31日

発行:かるはずみ/羽純やえ

hazumi_yae@yahoo.co.jp

<http://krhzm.blog.fc2.com/>

@hazumi__ (※アンダーバー2本です)

special thanks

ヤナギ・ヤナフィ(YaNAGI-X)様

印刷:株式会社サングループ様

THE iDOLMASTER MILLION LIVE! fanbook

YURIKO NANA O

presented by Karuhazumi : Yae Hazumi